

星槎大学、卒業おめでとうございます。

私どもは、およそ30年前に宮澤会長との出会いがあって、いろんなことで、お手伝いをしている会社です。

今年の学位証授与式も、新型コロナウイルスによる【緊急事態宣言】のなか、「インターネット配信方式」での実施ですネ。

みなさんに直接お目にかかれませんが、この時期だからこそ、「2つのこと」をお伝えしたいと思います。

「はなむけの言葉」にかえて『メッセージ』を送ります。

① 私たちは、いま、「歴史の生き証人」として体験中です。

私たちは、歴史の「大きな転換期」にいます。

コロナ禍のなか「世界情勢」、「環境」及び人々の「人生観」、「働き方」なり「学び方」などが、大きく『変化』しています。

次世代を担う人々は、『変化』をじっと待たずに、

『変化』を先取りする形で、社会に、世界に貢献していくことが望まれます。

② 星槎大学の「『共生』の理念」は、まさに「世界の、社会のあり方」を先取りした、「先見の明」であります。

グローバル社会になり、激しい経済競争が行われ、「圧倒的な『勝ち組』」と「負け組」が明確にもなりました。

「GDP重視」による経済成長が限界を見せ、その打開策として「CSV」「ESG」あるいは「SDGs」導入による解決方向を生み出されました。

それらに共通するものは『共生』と『こころ』です。

●いよいよ星槎の唱えた『共生』の時代がやってきています。

人間は「感情の動物」でもあります。

将来が見えないことに対しては、ここには「不安感」がわいてきます。

世界のみなさんたちが、「将来に希望の持てる社会」、「安心できる世界」をつくっていかなくてはなりません。

そして、星槎大学の卒業のみなさんが、『共生』の理念を十分にかみしめ、これからのご活躍に期待したいと思います。

ご卒業 おめでとうございます。

2021年3月20日(土)

みらいコンサルティンググループ

代表 久保光雄